

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	補助事業の名称	補助事業者名	補助事業に要した経費	補助充当額	備考
1	公共施設に係る設備、維持補修又は維持運営等措置	常陸太田市立図書館等維持運営事業	常陸太田市	28,934,774	26,077,000	

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	補助事業の名称
3	公共施設に係る設備、維持補修又は維持運営等措置	常陸太田市立図書館等維持運営事業
補助事業者名		常陸太田市
補助事業実施場所		常陸太田市中城町外
補助事業の概要		常陸太田市立図書館及び常陸太田市生涯学習センターにおける常勤職員人件費（9名、9ヶ月分）。市立図書館は、多種多様な情報収集と情報発信の拠点として生涯学習の場を提供し、住民の教養を深め社会教育活動を一層実り豊かにする重要な施設です。また、生涯学習センターは、各種講座や教室の開催等により市民の生涯にわたる総合的な学習活動の場を提供するとともに、各種サークル活動の拠点としても重要な市民交流の場となっています。当該補助金を2館の維持運営費に充当することにより、施設の適正な維持運営を図り、より一層の教育文化活動の向上及び市民生活の質の向上に努めます。

<p>補助事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標</p>	<p>【常陸太田市立図書館】 交付金事業に関する主要政策・施策： 第6次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和8年度） 基本目標Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり 3. 夢と生きがいをもって活躍するひとづくり ⑧多様な学習機会の支援 (1)生涯学習活動機会の充実 ○図書館資料の充実と読書活動の振興 総合計画における指標：図書館資料年間貸出冊・点数 200,000冊・点 （補助事業独自指標）人口1,000人当たりの個人年間貸出冊・点数 4,200冊・点</p> <p>【常陸太田市生涯学習センター】 交付金事業に関する主要政策・施策： 第6次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和8年度） 基本目標Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり 3. 夢と生きがいをもって活躍するひとづくり ⑧多様な学習機会の支援 (1)生涯学習活動機会の充実 ◎☆時代の要請に的確に対応した学習プログラムの提供 総合計画における指標：生涯学習講座・教室への年間参加者数 4,500人 補助事業の指標も同じ指標とする</p>
<p>事業開始年度</p>	<p>令和4年度 事業終了（予定）年度 令和4年度</p>
<p>事業期間の設定理由</p>	<p>年度内にて評価をするため（人件費のため単年度で評価）</p>

	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度	
	補助事業の成果目標 及び成果実績	〔施策〕 図書館資料の充実と読書活動の振興	人口1,000人当たりの個人年間貸出冊・点数 4,200冊	成果実績	冊・点		3,800
目標値				冊・点		4,200	
達成度				%		90.48%	
〔施策〕 時代の要請に的確に対応した学習プログラムの提供		生涯学習講座・教室への年間参加者数 4,500人	成果実績	人		2,898	
			目標値	人		4,500	
			達成度	%		64.40%	
評価年度の設定理由							
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
補助事業の定性的な成果及び評価等							
<p>市立図書館の貸出人数は達成度90.48%と目標を下回りました。原因としては、様々な情報メディアの急速な普及により図書を購読する方法が多様化していることが考えられます。次年度は、令和5年2月に策定した第二次常陸太田市子ども読書活動推進計画に基づき、ブックスタート事業やワークショップの開催等を継続して行うとともに、電子書籍を充実させ、デジタル社会に対応した図書館の整備に努めます。</p> <p>市の各生涯学習センターで開催した各種講座への年間参加者数は達成度64.4%と目標を下回りました。各種講座参加者の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響等によるものだと考えております。次年度においては、引き続き感染症対策を継続するとともに、講座や教室ごとに実施しているアンケート結果等を活用し、さらなるサービスの向上に努めます。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							

補助事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	常勤職員の雇用量 (雇用人数(人)×雇用期間 (月))		活動実績	人月	81	81	81
			活動見込	人月	81	81	81
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
補助事業の総事業費 等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考			
総事業費	29,633,500	28,318,100	28,934,774	86,886,374			
補助充当額	26,135,000	26,187,000	26,077,000	78,399,000			
うち文部科学省分				0			
うち経済産業省分	26,135,000	26,187,000	26,077,000	78,399,000			
補助事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助事業の担当課室	常陸太田市立図書館、常陸太田市生涯学習課						
補助事業の評価課室	常陸太田市企画課						

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 補助事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 補助事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、補助事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、補助事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、補助事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、補助事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、補助事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 補助事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 補助事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 補助事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 補助事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、補助事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。
事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。